

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市旭ヶ丘児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 20,185人（前年度比 95.5%） 平成29年度 21,135人 平成28年度 19,370人 平成27年度 18,765人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理者に支払った費用 31,818千円 ( 27,890千円)</li> <li>・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)</li> </ul>
		《収入》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用料収入 0千円 ( 0千円)</li> <li>・ その他収入 0千円 ( 0千円)</li> </ul>
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者会を実施。

### 二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、保護者懇談会の際に子どもがハンドベルの演奏を発表するなど日頃の活動やクラブ全体の育成支援について理解を深めているほか、同日に「親子の会」行事を実施し、レクリエーションやクッキング活動を通して保護者同士や親子の交流を促進している。また、一人ひとりについては個人面談等により相互の様子を伝え合う環境づくりに取り組み、家庭と連携した育成支援に取り組んでいる。学校、市民センター、地域団体、住民等と連携した畑の活動やホテルの鑑賞会等共催行事を通して、地域組織、団体等との協力・交流を図り、児童館の理解を含めるとともに、健全育成を進める環境づくりに取り組んでいる。	18/18

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
<b>加点評価</b>	—

### 四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》
<p>平成30年度も「きがるに・つながる・ほっとする、人と人との懸け橋に」を館のテーマとして掲げ、これまで築いてきた関係と新しい繋がりを大切に、地域に愛され必要とされる児童館を目指して邁進した。</p> <p>&lt;地域交流推進事業&gt; 当法人が運営団体となり10年度目を迎え、館祭りも旭ヶ丘児童館10周年目の祭りとして実施。地域三町内会の会長をはじめ、これまで継続して関わってきた地域の方々に多大な協力を頂くとともに大学生ボランティアにも協力を頂き、例年以上に“地域の中にある児童館”を参加した皆が感じられる祭りとなった。</p> <p>&lt;子育て家庭支援事業&gt; 新たな取り組みとして「ちょこっとタイム」を実施。館で過ごすちょとした時間に、家庭ではなかなかできないことに挑戦してみる、“ちょっとできた”、“初めてふれてみた”を経験できる時間として実施。大きな紙にお絵描きをする等、定例プログラムの時間設定は少し長くて利用しづらいといった親子にも好評を頂いた。また、前年度より月に一度土曜日に実施している「ちびっこファミリーデイ」のニーズが高く、平均6組の参加があり、“職場復帰してからも遊びに来れる機会となって嬉しい”等の喜びの声を多数頂いた。</p> <p>&lt;児童クラブ事業&gt; 登録人数の増加に伴い、登館時の子どもの動線の見直しを図った。各部屋の使い方や勉強空間の確保等についても職員間で何度も協議し、子ども達がより安全かつ快適に過ごせる空間作りに努めた。</p> <p>&lt;児童健全育成事業&gt; 前年度より活動を開始した子どもボランティアグループ「旭ヶ丘児童館子どもボランティア」の登録人数が5名から12名に増加。登録児童が様々な場面で活躍する姿が、年下の児童にとって良い刺激や良きモデルとなってきている結果である。また登録者のうち2名は中学生となったが、中学に進学してもなお継続して活動に携わってくれており、自然体験活動「地球探検隊」やキャンプ等で活躍してくれている。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>小学生向けと通常の児童館だよりの両方を小学校の全児童に配布するほか、行事の際は中学生向けチラシを作成するなど、分かりやすい情報提供や広報に努めている。</p> <p>児童クラブ児童を対象に年2回宿泊キャンプを行うほか、小学生を対象に月1回ほど野外体験活動を取り入れている。公共交通機関を利用し、七北田公園、県民の森、水の森公園等に出かけ、職員や友達と協力して一緒に火おこし等の活動に取組む機会を提供している。日常の遊びの支援から心身の育成を図るほか、長期休業中のランチづくりや、月例行事の調理活動、製作活動、季節の水遊び等の実施により、子どもの遊びや活動、興味を広げ豊かな情緒の育成に努めており評価できる。</p> <p>乳幼児を対象とした活動では、発達に応じたプログラム、保護者向けのリフレッシュ企画、家庭健康課等と連携した育児講座や相談の場、就労家庭など平日利用が難しい乳幼児親子の土曜日の交流の場の提供など、多彩なプログラムを提供し地域の子育て家庭支援に取り組んでいる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室